

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

10

October
2024

山形県中小企業家同友会

月刊 同友 やまがた



2024年度若手社員研修



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2024年度スローガン

自社の存在意義を問い直し、
地域と共に豊かな未来へ

自身を成長させ、幸せにする目標を立てる



9月4日、2024年度若手社員研修が開催され、会員企業11社から受講者25名、同行者13名の計38名が参加しました。入社3～5年目の社員を対象として、入社からこれまでの成長を振り返り、目標を立てることを目的に、今回初開催されました。

成長を振り返る

研修では、受講者が順番にグループ長となり、ワークシートを記入しながらグループ討論を行いました。1つ目のワークシートは「原点に戻る」。入社時の気持ちを思い返し、そこから自身がどのように変化したかを共有し合いました。その後、座長の伊藤誠氏(城北電気工事㈱ 代表取締役)より「社会人基礎力」について説明がありました。「社会人基礎力」とは経済産業省が提唱した「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つの能力から構成される、社会人として働くために必要な能力です。受講者は講義を踏まえて、自身の社会人基礎力について入社時と現在でどのように変化したかをシートに記入しました。ワークシート2は「入社時からの成長を振り返る」。これまでのシートと事前に経営者・上司が記入した受講者への評価をもとに、自身の成長度合いを確認しました。経営者・上司からの評価を見た受講者からは「自分も気にしているところが指摘されており、納得した」「自分をとてもよく見ていると気付いた」との声があがっていました。

自分のための目標を立てる

その後、㈱サニックスの今野竜平氏が先輩社員として体験報告をしました。今野氏は目標設定の意義として「これからの行動を具体化する基準になる」「振り返って反省する基準になる」「結果にかかわらず自身の現在地がわかる」

の3つを挙げ、自身の入社時からの成功や失敗を振り返り「これまで、周囲から妥当だと思われるような、正解らしい目標を立ててきた。しかし、ついに自分のための目標を立てる時がきた」と語ります。そして受講者へ「こうな



りたい]ではなく、性格や信念などの「こうありたい」で目標を立てることを提案しました。普段の仕事や私生活において、自分が人としてこうありたいという姿を目標にすることで、自然と行動につながります。また、やりたいことが見つからない人でも、自分にとって不幸な人生とはどんなものかを考え、それを避けるための行動を起こしてはどうかと語りました。最後に今野氏は経営者や上司に対し「ただ社員に目標設定を求めるだけでなく、社員にどうなって欲しいのかを伝えて欲しい」とメッセージを送りました。

目標設定をして、幸せな人生を送ろう

ワークシート3は「目標設定の大切さ」。講義をふまえ、目標設定をする意義について話し合いました。続けてワークシート4は「3年後の目標設定」として、3年後、2年後、1年後と自身がどのように成長したいかを記入。成長するために直ぐ始める行動を3つ決め、受講者一人ひとりが登壇して決意表明をしました。その後、同行者からコメントがあり「若手社員たちが色々なことを考え、仕事に真剣に向き合っているのを感じた」「事前課題も含め、上司側としても社員の成長を感じ、労う機会になった。普段から部下の成長に気付き褒めるようにしたい」などの話がありました。

最後に座長の伊藤氏より「入社して数年が経ち、目標を見失っている方も多かったのではないかな。この研修を通して、自分で考える必要性に気付いていただけたと思う。覚えていて欲しいのは『仕事は人生の一部』だということ。最大の目的は、皆さんが幸せな人生を送ること。目標を持って仕事をして、自身を成長させることは幸せにつながる。ぜひ、自分の人生の幸せについて考えてもらいたい」とまとめがあり、閉会となりました。

地域資源を生かす取り組みを学ぶ



8月26日、食農部会主催の視察学習会「地域の宝を生かす一地域内連携・六次化商品開発に学ぶ」が開催され、16名が参加しました。

六次産業化への挑戦



午前中は、米沢市で酪農を営むはまだ牧場を視察しました。搾乳機や牛舎を見学した後、自家製のジェラートをいただきながら、代表の濱田 篤氏よりお話をいただきました。

約100頭の乳牛を飼っている同牧場。牛舎では柵の中の牛が自由に動き回っています。ストレスの少ない環境で育てることでおいしい牛乳がとれるようにしています。

しかし、乳業メーカーへの販売は他の牧場のものと混ざることになるため、味をそのまま届けることが出来ません。

そこで始めたのが、県内唯一の生乳を使ったジェラートです。牧場の敷地内に加工場を作り、新鮮な生乳を使うことで、濃厚でさっぱりとした後味のジェラートが出来上がりました。ネット販売のほか、キッチンカーでの移動販売や牧場内の自動販売機で購入できるようにしています。

ジェラートを始めてからの悩みは「とにかく売り先が無かった」ことでした。何度も展示会などに足を運び、発信し続けたことで少しずつ知名度が上がっていった結果、現在ではキッチンカーの出店やジェラート販売から牧場の名前を知ってもらえるようになってきています。

また、地元の仲間と㈱リアクト米沢を立ち上げ、自社を含めた地域で出た牛糞や食品残渣などの廃棄物をつかってバイオマス発電を行っています。さらにメタンガスを出し終えた廃棄物を発酵させることで有機肥料にし、地元の農家と協力してアスパラガスなどの農産物を栽培。できた

作物を「グリーンリアクトプロジェクト」としてブランド化しています。

最後に、濱田氏はこの先の展望を「ジェラートなどの挑戦をしたことで、いろいろな方に知ってもらえた。これから他の商品も開発し、はまだ牧場をブランド化したい。ゆくゆくは飲食店のような人が集まる場所をつくり、地元の人に人が来るように出来ればと思う」と語りました。

地元農家との連携

午後は、高畠町でお菓子の製造販売を行う㈱菓子工房COCOイズミヤの新店舗Coco de cachette Izumiyaを訪問し、代表取締役の庄司薫氏の報告をお聞きしました。庄司氏は新店舗オープン理由を「ここでしかできない地元のものを使ったお菓子づくりをしたかった」と語ります。これまでも地元高畠の農作物を使ったお菓子をつくってきた同社。そこには庄司氏の「高畠町の良いものを全国に広げ、たくさんの人を呼びたい」という思いがあります。

また、庄司氏は新店舗のもう一つの理由として「この店は事業承継の第一歩。後継者と社員たちが地域を担うための場をつくった」と説明しました。新店舗では店の敷地を使って定期的にマルシェを開催しています。出店はSNSを使って募集しており、出店者や顧客を含めて、様々な人が集まる機会になっています。

会場にはお菓子の原料となる枝豆やフルーツ等の生産者も参加し、農家の目線から地元のお菓子屋との連携についてお話をいただきました。「近くに店があることで、収穫したての一番おいしい状態で加工してもらえる」「自分たちの作ったものがすぐそこでお菓子になり、お客さんに喜ばれているのを見ることができてうれしい」「農家の出荷とお菓子の生産計画との擦り合わせが綿密にできる」との声があり、地域内連携による地産地消が単に地元の経済を回すことにとどまらず、商品の魅力向上や農家の喜びにもつながっていることが分かりました。

最後には農家の方々も交えて質疑応答が行われ、後継者不足や気候変動によって農家が減少し、今までのやり方が通用しなくなっているという危機感を共有。地域の農家が協力し集団として農業を営んでいく必要性や、食農教育への協力によって子どもたちに農業を知ってもらい、農家を増やしたいという思いが語られました。



第21回経営研究集会

企業づくりと地域づくりを一体として 地域建設業ができる地域一体化



2024年 **11.18**(月) 受付/13:30
開会/14:00

会場

ホテルメトロポリタン山形

山形県山形市香澄町1-1-1 TEL 023-628-1111

会費
(税込)

第1部(講演・グループ討論) **3,000円**

第2部(懇親会) **10,000円**

スケジュール

第1部

14:00~14:25 開会セレモニー
14:25~15:55 基調講演
16:10~18:10 グループ討論

第2部

18:30~20:00 懇親会

報告者

藤田建設工業株式会社

取締役会長

藤田 光夫氏(福島同友会会員)

- 会社設立:1952年
- 正社員数:176名 パートアルバイト数:6名
- 資本金:9,036万円 ■年商:123億7,300万円
- 事業内容:総合建設業(建築・土木・舗装)
- <https://fujitakk.com/>

地域企業の永續には、地域に感謝し、地域を大切に、地域への責任をしっかりと実行していくことが大切と考えています。1社では小さな存在でも、2社、3社と手を合わせると大きな結果へと繋げていきます。藤田建設工業株式会社では、多種多様な関連グループ企業が、同友会で共に学び、協力することで、1つの会社ではできないことを成し遂げ、次へのチャンスに変えるとともに、地域貢献へと繋がる仕組みづくりを実践しています。自社の存在意義を問い直し、企業づくりと地域づくりを一体として考えあう機会にしましょう。

《申込み最終締切》 11月11日(月) ※11/12以降のキャンセルは参加費をご負担いただけます。ご了承ください。

ご挨拶

実行委員長 (有)後藤石材店 代表取締役 後藤康晴氏

第21回経営研究集会の実行委員長を務めさせていただきます。(有)後藤石材店の後藤康晴です。今回の講師は福島県の棚倉町にある藤田建設工業(株)の藤田光夫会長をお迎えします。「自社の存在意義を問い直し、地域と共に豊かな未来をつくろう」のスローガンのもと、各企業が影響を与えられる地域を認識し、どのように貢献できるかを考える機会にしたいと考えています。藤田建設工業(株)の成長と様々な事例を参考にし、次々と挑戦を続けて投資と回収の輪を大きくしていく、投資先が地域課題の解決につながる事業であれば、会社も地域も潤う、という好循環を棚倉町にて目の当たりにしてきました。会社規模の大小、事業内容により、地域の定義や地域貢献の形は違ってくると思います。講演とグループ討論を通して自分の会社が地域のためにできること、得られるものを共に学び、豊かな未来を描く一日としましょう。皆様のご参加をお待ちしています。



「自信」が「確信」に変わる 第1回経営姿勢確立セミナー開講

説明会

2024年 **10.28**(月) 16:00~18:00

会場:TISカンファレンスセンターC会議室

詳しいご案内は同封の案内をご確認ください。

山形同友会では、一人経営者・土業・個人事業主・第二創業の方が近年増加しています。

本セミナーは「よい経営者になろう」という目的に特化して開催します。経営者としての目標が定まらない、本気になれない、どう舵を切っていこうかなどお悩みの方は是非ご参加下さい。開催にあたり説明会を開催します。

参加申し込み、お問い合わせは、山形同友会事務局までご連絡ください。

10月例会のご案内

山形支部

社員と共につくる「社風」について考えよう

2024.10.17(木) 15:00~17:30

場所: やまぎん県民ホールスタジオ1&zoom
山形市双葉町1-2-38 ☎023-664-2220

報告者: (株)サニックス 代表取締役 佐藤啓氏
やまがたりクルーティングサポート 代表 前盛直人氏

10月例会は共同求人委員会と連携して、社員と共につくる「社風」について学んでいこうという企画です。共同求人委員長(株)サニックスの佐藤社長の体験報告と、副委員長であるやまがたりクルーティングサポートの前盛代表による現在の求人状況を分析、採用から育成についてご説明いただきます。

お二人のお話から、会社が維持発展し成長していくために必要なことは何か、そして、若い人たちの価値観を知り、共に育つために必要なことは何かを考えたいと思います。

社員の成長が会社の成長に繋がりますが、それを実現するにはどうするのか、同友会が描く「21世紀型企業」の「人を生かす経営」の原点は何かを追求していきます。会社の維持発展には何が必要なのか共に学び考えながら、山形同友会で新たなステージを創造して行きましょう!

寒河江支部

事業づくりが経営の“源” ～本業を深掘りし、発想の転換でマネタイズする極意～

2024.10.25(金) 18:30~20:30

場所: ホテルサンチェリー
寒河江市本町1丁目2-23 ☎0237-83-5000

報告者: 合同会社伝統組 代表 立川こしら氏

落語会でも異色の存在である、立川一門。業界のしがらみや慣習などから離脱し、“独自の経営スタイルを確立している現役の落語家”である立川こしら氏より、著書「その落語家、住所不定」をベースに、実践から得た経験を報告していただきます。時代の大きな“断層”を迎えるにあたり、変化対応して生き残るためのヒントを実践者の存在から紐解きます。

さくらんぼ支部

障がい者雇用で学んだこと

2024.10.30(水) 15:00~17:30

場所: 東根市タントクルセンター視聴覚室&zoom
東根市中央1-5-1 ☎0237-43-1155

報告者: (株)サニックス 取締役経営企画部長 大江藤之氏

(株)サニックスは経営指針の成文化後に新卒採用をスタート。ある学校を訪問して紹介されたのは発達障害を持つ学生でした。彼を採用し、研修も無事終了で配属しましたが、現場からは彼に対する不満が噴出。

しかし、「サニックスで長く働きたい」という彼の思いに応え、ジョブコーチの支援のもと、社員同士で分担してルール理解の促進やミス防止の取り組みをスタートさせました。会社としてもルールの可視化などを同時に進めると、次第に問題点が改善し、「仕事を覚えたい、できることを増やしたい」と社会人としての責任感も芽生えてきました。「一番大切なことは、人は必ず育つと信じる」と振り返る大江氏。障がい者雇用を通じて、認め合い助け合う社風づくりに取り組んだ実践に学びあいます。

置賜支部

集え! 変革者! あなたがやらねば、誰がやる

2024.10.25(金) 18:30~20:30

場所: 伝国の杜
山形県米沢市丸の内1丁目2-1 ☎0238-26-8001

報告者: ハンズバリュー(株) 代表取締役 島田慶資氏

刻一刻と変化し、厳しさを増していく経営環境の中で、経営者は現状維持に甘んじることなく、時代に合わせ自社を変革していかなければなりません。企業を変革するためには、変わるための武器となるツールと、何のために変わるのか、何のために経営をするのかという目的が必要です。

置賜支部10月例会はHP等の広告デザインやITツールの活用支援、経営コンサルティング等を行っているハンズバリュー(株)代表取締役の島田慶資氏より、デジタル化・DX化の本質と、変革の基となる経営指針について自社の体験報告を交えながらお話ししていただきます。同友会での学びを活かし、自社の変革と新たな価値創造へ挑戦する島田氏の報告から、企業の未来をつくるために何が必要かを学びあいましょう。

庄内支部

「あなたの強みは、なんですか?」 —自社の強みをブランドにするには—

2024.10.24(木) 15:30~18:00

場所: ミライニ3階 チョウカイ &zoom
酒田市幸町1-10-1 ☎0234-24-2996

報告者: (株)フロット 常務取締役 五十嵐久仁子氏

(株)FLOTの常務取締役五十嵐氏より、「田宮印刷」から「FOLT」へ会社が大きく変わった時の貴重なお話をいただきます。そこには、ブランディングが大きく関わっていたようです。

また、ワークをとおして、自社をミニブランディングしていきます。楽しみながら「強み」を把握し、それをどのように発信していくかを学びます。強みを把握し、意識することで、会社の在り方や今後のサービスの発信の仕方が変わるかも!?

自社ブランディングを必要とする全ての方へ。すぐ生かせるヒントが満載の貴重な会です。

新庄最上支部

失敗から学ぶリーダーシップ ～中間管理職のぶっちゃけ報告～

2024.10.22(火) 18:30~21:00

場所: わくわく新庄 会議室 ※zoom参加NG
新庄市下金沢町15-11 ☎0233-23-0197

報告者: (株)セロン東北新庄営業所 所長 三原辰博氏

同友会の例会の大きな魅力の一つが「生の体験報告」です。報告者自身の体験に基づいた成功/失敗の話だからこそ心に響き、自社で実際に活かせる学びを得ることができます。

今回の支部例会では、山形の安全を守る(株)セロン東北の県内各地で所長を務めてきた三原氏に、自身のリアルな経験、特に失敗から得た学びをご報告いただきます。中間管理職の立場から社員に向き合い、営業所発展に取り組んだ中で数々の失敗と教訓は、経営に役立つヒントにあふれています。

「ぶっちゃけトークになるので……」という三原氏の意向で、今回はzoom参加NGとさせていただきます。新庄に集まり、膝を突き合わせて本気本音で語り合う例会となります。組織づくり、リーダーの姿勢に悩む方には特におすすめです。社員さん、ゲストのご参加も大歓迎!お待ちしております!

第5回理事会報告

◆日時: 2024年9月11日(水)午後3時00分~午後4時50分 ◆会場: TISカンファレンスルーム ◆議長: 阿部副代表理事

◆出席者: (敬称略)菅原、阿部、小川、東海林、西塔、後藤(康)、高橋、中川、菊地、斉加、大江、前盛、飯野、志田、本多、井田、庄司、小寺、大久保、平形、佐藤(泰)、長谷川、事務局矢作、芳賀、青木、上遠野

■開会挨拶

菅原代表理事より「アメリカの大統領選、自民党の総裁選など、政治の大きな動きが控えている。社会の動きは経営環境に影響を及ぼすが、そんな中でも企業価値を高め、自社の存在意義を再定義することが必要。そういう学びを出来るのが同友会。本日は全国行事の様々な報告があるので、学びを共有して下半期に向かっていこう」と挨拶がありました。

■学習会

菊地理事より年間休日数、5日以上の有給休暇取得義務の注意点について説明があった後、質疑応答が行われました。

■報告事項

- 1) 2024年度組織強化会員増強全国交流会8/20(Zoom)9名
菅原代表理事より「中山幹事長から、『同友会全体では会員が増加傾向だが、支部単位では45.8%が純増で過半数の支部が増えていない。景況調査の回答率が高い同友会ほど会員の参加意識が高く活性化している傾向にある』と話があった。その後、280カ月連続で同友会を知る会を開催し、毎月入会者を迎えている福岡同友会の福友愛支部、勧誘企業をリストアップし訪問活動を行っている北海道同友会のくしろ支部、支部・ブロックの活性化を指数にしている兵庫同友会の中はりま支部の取り組み報告があった」と報告がありました。
- 2) 2024年度第1回中同協経営労働委員会8/30(東京)1名
小川副代表理事より「林前委員長が賃上げできる企業づくりをテーマに報告した後、『自社では賃上げが行えているか、どのように行っていくのか』と『賃上げできる企業づくりの実践を会内でどう広めていきますか』についてグループ討論を行った。また、経営労働委員会が担う役割について、社会課題・地域課題を経営課題と捉え経営指針に位置付けるといったテーマと、今年が労使見解発表から50年の年であることについて話しがあった」と報告がありました。
- 3) 第10回中同協共同求人・社員教育委員会9/4~5(東京)2名
庄司理事より「グループ討論では、委員会活動の周知についての話題があり、2日目は広浜会長より、新しいステージに求められる共同求人・社員教育委員会の役割として共同求人は地域で人を生かす経営を行い、主体者を増やす運動で、社員教育は人が育つ環境づくり、会社のために人を育てていませんかと問題提起があった。そして最後に、ユネスコ学習権宣言について触れ、主体的に成長しすべての人が幸せに生きられるようにしていくのが同友会」と報告がありました。
- 4) 山形市中小企業振興条例に基づく意見交換会8/29 2名
菅原代表理事より「山形市の中小企業振興の取り組み報告の後、意見交換が行われた。課題として取り組み自体の周知が図られていないことが挙げられた」と報告がありました。
- 5) 2024年度8月次報告
矢作事務局長より報告がありました。
- 6) 2024年度8月次決算報告
矢作事務局長より報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 2名入会 1名退会 490名

■討議事項

- 議題1: 40周年記念事業について
小川副代表理事が、記念事業として40周年記念式典(会員表彰・10年ビジョン発表・記念講演・グループ討論・祝賀パーティ)と40周年記念パンフレットを作成すること、40周年記念式典は2025年11月6日(木)にホテルメトロポリタン山形を会場として、拓殖大学政経学部教授 山本尚史氏より講演いただくことを、今後の準備スケジュールと合わせて報告し、承認されました。
- 議題2: 第21回経営研究会について
後藤理事より、開催要項案と予算案の提案があり、承認されました。
- 議題3: 2025新春交流会について
菊地理事より、日時・会場・講師についての提案があり、承認されました。
- 日時: 2025年1月18日(土)
●会場: ほほえみの宿 滝の湯
●講師: (株)MIYAMAコーポレーション 代表取締役 降旗美香氏(福岡同友会)
- 議題4: 各委員会より
1) 組織委員会より
菅原代表理事が組織委員会の報告として、今期目標達成まで27名のギャップに対して、目標達成の意義として他団体と同友会の違いを議論したこと、e-doyuの行事案内が多すぎるという意見に対する対応の検討、および同友会を知る会の予定と担当の確認を行ったこと、学習会については、金融学習会を10月23日に開催し、DX学習会は12月の開催を予定していることを報告しました。

同友会知る会の予定

日	時	会場	歴史と理念	体験報告
9月24日(火)	13:00	同友会事務局	阿部副代表理事	北村康平
9月24日(火)	18:00	アクティー米沢	菅原代表理事	鎌水伸一
10月28日(月)	14:00	同友会事務局		斉加義三
11月11日(月)	13:00	同友会事務局		秋葉卓哉

2) 経営指針委員会より

小川副代表理事より、今年度からスタートする経営姿勢確立セミナーについて案内があり、「各支部で起業したばかりの方や、経営指針をつくる会は重いと感じているような方がいれば、説明会へお誘いいただきたい」と参加呼びかけがありました。

3) 社員共済委員会より

庄司理事より、10月2日開催予定の新入社員フォローアップ研修についての案内があった後、伊藤理事が初開催となった若手社員研修について「入社3~5年の若手社員を対象とした社員研修で25名の若手社員と同行者13名が参加。入社時からの成長の振り返りを行い、社会人基礎力に基づいて自己評価を確認した。その後、(株)サンクスの前輩社員である今野氏の実践報告から目標の大切さなどを学び、3年後の目標を立てて決意表明を行った」と報告がありました。

議題5: 行政・他機関・団体からの依頼について

- 1) 公正取引委員会との懇談会について
菅原代表理事より、公正取引委員会事務局東北事務局長白石氏と総務課長高橋氏が来局し、公正取引委員会の活動状況の紹介と公正取引委員会に対する意見、要望を聞くための懇談会の依頼があったことについて説明があり、懇談会を開催することを承認しました。
- 2) (一社)山形県情報産業協会「やまがたITソリューションEXPO2024」開催への後援の依頼について
矢作事務局長より後援依頼の説明があり、承認されました。

■その他

- 1) 今後の予定について
・9月11日(水)中同協女性部連絡会(東京)
・9月12日(木)~13日(金)北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会(秋田)
・9月13日(金)北海道・東北ブロック代表者会議(秋田)
・9月19日(木)~20日(金)青年経営者全国交流会(宮崎)
・10月2日(水)新入社員フォローアップ研修(流通団地会館)9:00~
・10月10日(木)経営指針をつくる会発表会(TISカンファレンスセンター)12:30~
・10月16日(水)中同協第2回幹事会(Zoom)13:00
・10月22日(火)~23日(水)中同協役員研修会(北海道)
・10月23日(水)~24日(木)北海道・東北ブロック事務局長会議(北海道)
・10月23日(水)金融セミナー(TISカンファレンスセンター)15:00~
・10月28日(月)経営姿勢確立セミナー(TISカンファレンスセンター)15:00~
・11月7日(水)東北ブロック青年経営者フォーラム(秋田)
・11月14日(木)~15日(金)人を生かす経営全国交流会(長崎)
・11月18日(月)第21回経営研究会(ホテルメトロポリタン山形)
・11月20日(水)2024年度幹部社員研修第3講(山形ビッグウイング)13:30~
・11月21日(木)経営指針をつくる会第5講(TISカンファレンスセンター)9:00~
・11月25日(月)経営姿勢確立セミナー(TISカンファレンスセンター)15:00~
・12月12日(木)~13日(金)全国事務局長会議(東京)
・12月14日(土)経営指針をつくる会発表会(TISカンファレンスセンター)13:00~
・12月20日(金)経営姿勢確立セミナー(TISカンファレンスセンター)15:00~
・12月20日(金)北海道・東北ブロック事務局員研修交流会
- 2) 今後の常任理事会と理事会日程について

第6回常任理事会	10月2日(水)16:00	第6回理事会	10月9日(水)15:00
----------	---------------	--------	---------------

■閉会挨拶

大江理事より「9月25日の山形支部例会は、社員共済委員会との連携例会となっており、委員会活動についてもっと知ってもらいたいという想いがある。今年度、初めて若手社員研修を開催したが、やりたいことももっとあり、そのためには仲間が必要。ぜひご参加いただき、社員共済委員会の取り組みや目的に興味を持ってほしい」と挨拶がありました。

新会員紹介

- ◇ おおた かつよし 氏
スリーエー(株)
代表取締役
工場施設設備の保全及び管理業務
山形支部
- ◇ おがわ まさゆき 氏
(株)カーサービス山形
課長
自動車販売
山形支部

会員変更

- (株)アウォークス保険サービス山形支店 支店長 伊藤尚彦氏
⇒ 代表取締役 樋口達哉氏(山形支部)
- (株)ヤリミズ自動車 専務取締役 鎌水伸一氏
⇒ 代表取締役社長(置賜支部)
- 社会保険労務士法人はるかぜ事務所 代表社員 平吹 修氏
⇒ 平吹社会保険労務士事務所 代表(置賜支部)

同友やまがた10月号(2024年10月1日発行/通巻379号)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304
URL: <https://yamagata.doyu.jp/> E-mail: info@yamagata-doyu.jp